

2021年度 学科別授業科目一覧表 (実務経験表記あり)

課程： 工業専門課程

学科： 電気工学科

No.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験	授業時間数	シラバス添付	授業時間数
1	数学Ⅰ	1	30	2	必修	講義				
2	数学Ⅱ	1	30	2	必修	講義	○	30		
3	数学Ⅲ	1	30	2	必修	講義				
4	基礎工学	1	30	2	必修	講義	○	30		
5	基礎電気	1	30	2	必修	講義				
6	電気磁気学Ⅰ	1	60	4	必修	講義				
7	電気磁気学Ⅱ	1	60	4	必修	講義				
8	電気回路Ⅰ	1	60	4	必修	講義	○	60		
9	電気回路Ⅱ	1	60	4	必修	講義	○	60		
10	過渡現象	1	30	2	必修	講義				
11	電気磁気計測	1	60	4	必修	講義				
12	発変電工学Ⅰ	1	30	2	必修	講義	○	30	☆	30
13	発変電工学Ⅱ	2	30	2	必修	講義	○	30		
14	送配電工学Ⅰ	1	30	2	必修	講義	○	30	☆	30
15	送配電工学Ⅱ	2	30	2	必修	講義	○	30		
16	電気機械Ⅰ(1)	1	30	2	必修	講義	○	30		
17	電気機械Ⅰ(2)	1	30	2	必修	講義	○	30		
18	電気機械Ⅱ(1)	2	30	2	必修	講義	○	30	☆	30
19	電気機械Ⅱ(2)	2	30	2	必修	講義	○	30		
20	電力系統工学	2	30	2	必修	講義	○	30		
21	電気材料	2	30	2	必修	講義	○	30		
22	自動制御Ⅰ	2	30	2	必修	講義	○	30	☆	30
23	自動制御Ⅱ	2	30	2	必修	講義	○	30		
24	電気応用Ⅰ	2	30	2	必修	講義	○	30		
25	電気応用Ⅱ	2	30	2	必修	講義	○	30		
26	電気応用Ⅲ	2	30	2	必修	講義				
27	電気法規	2	30	2	必修	講義				
28	電気工学演習Ⅰ	1	30	1	必修	演習				
29	電気工学演習Ⅱ	1	30	1	必修	演習				
30	電験理論演習	1	30	1	必修	演習	○	30		
	小計		1050	67				630		120

No.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験	授業時間数	シラバス添付	授業時間数
31	電験法規演習	2	30	1	必修	演習				
32	機械演習	2	30	1	必修	演習				
33	電子工学	1	30	2	必修	講義	○	30		
34	電子回路	2	30	2	必修	講義				
35	電子応用Ⅰ	2	30	2	必修	講義	○	30		
36	電子応用Ⅱ	2	30	2	必修	講義				
37	論理回路	2	30	2	必修	講義				
38	デジタル通信技術	2	30	2	必修	講義				
39	情報処理Ⅰ	2	30	1	必修	演習				
40	電気基礎実験(1)	1	45	1	必修	実験				
41	電気基礎実験(2)	1	45	1	必修	実験				
42	電気工学実験(1)	1	45	1	必修	実験				
43	電気工学実験(2)	2	45	1	必修	実験				
44	電気工学実験(3)	2	45	1	必修	実験				
45	コンピュータ実習Ⅰ	1	45	1	必修	実習				
46	コンピュータ実習Ⅱ	2	45	1	必修	実習				
47	制御実習Ⅰ	2	45	1	必修	実習	○	45	☆	45
48	制御実習Ⅱ	2	45	1	必修	実習				
49	制御実習Ⅲ	2	45	1	必修	実習				
50	電気設計製図	2	15	1	必修	講義	○	15		
51	CAD製図	2	45	1	必修	実習	○	45		
52	電気工事实習Ⅰ	1	45	1	必修	実習				
53	電気工事实習Ⅱ	1	45	1	必修	実習	○	45	☆	45
54	電気工学研修	2	135	3	必修	実習				
小計			1005	32				210		90

全科目合計	2055	99
実務経験有教員担当合計	840	49
卒業に必要な授業時数	2085	91

シラバス添付合計時間	210
------------	-----

学則中の設置学科別合計授業時間数と本学科別授業科目一覧表中の授業時間合計数との関係は下記の通りです。

●学則中授業時間数：1年生現年度確定授業科目の授業時間数に対し、2年生（及び3年生・4年生）は次年度（及び次年度以降）受ける予定の科目・時間数を計上してあります。

●学科別授業科目一覧表中の授業時間数：1年生・2年生（及び3年生・4年生）が受けている現在の授業科目・時間数を計上してあります。

時間数の差異は、主に年度ごとに最新情勢を反映した教育活動を実施するためにカリキュラムを調整したために生じたものであります。